

2016年10月7日
東京海上ホールディングス株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目2番1号
コード番号 8766

「CSRブックレット 2016」が UCDA アワード 2016(情報のわかりやすさ賞)を受賞

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO 永野 毅、以下「当社」)はこのたび、一般社団法人 ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会®が主催する「UCDA アワード 2016」(CSR 報告書部門)において、「情報のわかりやすさ賞」を受賞しました。昨年度の「アナザーボイス賞」に続き、2年連続での受賞になります。

当社では、2011年度から、「安心・安全でサステナブルな未来」に向けた東京海上グループの CSR ストーリーを、すべての方にわかりやすくお伝えすることを目的として、小冊子「CSRブックレット」を発行しています。

あらゆる方々の利用しやすさ、わかりやすさに配慮し、写真やイラストを交えて、ページ数を抑えたコンパクトなサイズで提供するなど工夫し、ステークホルダーの皆様との CSR コミュニケーションツールとして活用いただいています。

今回の「UCDA アワード 2016」においては、このような当社の取り組みが高く評価され、「情報のわかりやすさ賞」を受賞しました。

【主な受賞理由】

- ・インフォグラフィックスにより情報量を削減。写真やイラストにメリハリがあり、全体として文章が読みやすい。
- ・各コンテンツが明快なテーマに基づいて構成され、単なる「データ集」ではなく、紙による冊子としての完成度が高い。

今後も当社は、「安心・安全でサステナブルな未来」に向けた東京海上グループの CSR への取り組みを、あらゆるステークホルダーの皆様へ、よりわかりやすくお伝えすることに取り組んでまいります。

※「CSRブックレット 2016」は、当社ホームページでご覧いただけます。

<http://www.tokiomarinehd.com/csr/highlight/>



「第三者」による客観的な評価



■UCDA アワードについて

企業・団体が生活者に発信するさまざまな情報媒体を、産業・学術・生活者の知見により開発した尺度を使用して「第三者」が客観的に評価し、優れたコミュニケーションデザインを表彰するものです。

■一般社団法人ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会®について

産業・学術・生活者の議論によって「わかりやすさ」の基準を策定し、情報コミュニケーションが生活者にとって「見やすく、わかりやすく、伝わりやすい」デザインになっているかを評価・認証する国内唯一の認証機関です。

以上